

# 春の大感謝フェア開催します 是非ご来場ください!



来たる3月16日(土)、3月17日(日)の2日間、午前10時から午後5時まで 富田林市向陽台3-1-1 エコールロゼ ショッピングセンター1階にて、関西電力(株)主催、かんでんEハウス(株)協賛のイベント【春の大感謝フェア】を弊社も参加、実施させていただきます。

お得な情報提供のほか、エコキュート、IHクッキングヒーターなどのお買い替えには、特別価格でご提供する【オール電化応援販売】コーナーも併設していますので、お気軽にご相談ください。

尚、ご来場の方にはガラガラ抽選会や、アンケートにお答えいただいた方にはとび箱パン(先着100名様)もご用意しています。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



詳しくはこのQRコードから弊社ホームページをご覧ください

（株）りらいふへのお問い合わせは  
電話料金無料  
フリーコール **0120-1126-45**

(株)りらいふの主な認定・登録  
TOTORIモデルクラブ クリナップ水彩工房  
トクラスリフォームクラブ加盟店(旧ヤマビルグ)  
リフォーム工事瑕疵保険登録 ガス機器SS登録店  
かんでんEショップ 関西電力はびスマイル店  
LIXIL PATTOリフォームサービスショップ  
建築工事業・管工事業・電気工事業登録・  
大阪府知事許可(般 27)第125834号 ほか

制作・編集・発行 (株)りらいふ



株式会社 りらいふ  
http://www.eco-relife.co.jp  
〒589-0004 大阪狭山市東池尻3-861-1  
TEL.072-366-3630 FAX.072-366-3691



アフターサービス誌【re-life】は、弊社でリフォームなどでお世話になったお客様へ年4回、季節の変わり目ごとにお送りしています。

re-lifeは、最新号から過去の号まで、弊社のホームページ上でもご覧になれます。

この絵をプレゼントします!



前回、56号冬の表紙絵【雪晴れの親子】には、1組様のみのご応募でしたので、いつもの抽選はありませんでした。お届けしたのは堺市東区にお住いのA様でした。A様、ご応募有難うございました。今回も皆さまのご応募をお待ちしております!

re-life 57号の表紙絵の題名は月夜です。シルクスクリーン版画で500部制作されている版画作品です。花瓶に活けたチューリップと、朧月夜の港町(横浜?神戸?)が幻想的に描かれています。大きさは、W327cm×H214cm 木製の額縁に入れて差し上げます。多数制作されている版画作品ですが、1点しか用意していませんので、ご応募の方が多い場合は勝手ながら抽選とさせていただきます。悪しからずご了承ください。今号の表紙絵【月夜】をご希望のお客様は、3ページ目に記載の応募要領にもとづいてご応募ください。





## 消えゆく 昭和のゆるい遊園地

暖冬傾向だったとはいえ、長い冬もようやく終わりを告げ、春の兆しが日に日に増す今日この頃です。

皆さま、こんにちは、オール電化やリフォームでお世話になりました(株)りらいふです。年に4回、勝手ながらお配りしています【りらいふ通信】の季節がやってまいりました。早いもので2019年もすでに2回目、春号のお届けとなります。

春、桜やタンポポ、菜の花などの花が咲き乱れる風景は、心も躍り楽しいものですね。個人的には桜が好きで、特にソメイヨシノに惹かれます。花びらの淡いピンクが、控えめで上品な印象をかもしだしているからでしょうか。

毎年、お弁当持参の花見が待ち遠しくて、満開になる頃にはソワソワしてきます。そんな次第で、時間と都合が許す限りですが、夫婦2人で出かけるお花見は毎年の恒例になっています。

子供たちが小さかった頃はお花見よりも、遊園地や動物園、水族館などに出かけて遊ぶのが春の定番リレーションでした。

今では無くなってしまいましたが、**さやま池遊園地**や**あやめ池遊園**などは、近くてリーズナブルな上に、危険な遊具や刺激的なアトラクションが無かったので、安心して子供たちを遊ばせられました。今風に云うと【昭和のゆるい遊園地】といったところでしょうか。

20数年前、私たち家族が、大阪市内から何の縁もゆかりもない現在の住宅地へ引っ越してきた理由は、**静かな環境の割には駅近だった さやま遊園が近かった**

**はいから村も近かった**の3つが大きかったからです。**ああ、それなのに！**……めでたく引っ越して来てからわずか数年後の2000年4月、少子化や娯楽、レジャーの多様化が祟たらしく、悲しいかな、さやま池遊園は閉園の憂き目を見たのでした。

ついでに申しますと、併設のプールゾーンが、我が家の子供たちに人気だったハイカラ村も、2007年に閉館、3つある引っ越し条件のうち、たった数年で2つもぶっとなでしまった私たち家族の落胆ぶりたるやもう……どうかお察しく下さいませ……

**尚、はいから村は名称は変わりましたが、現在も営業は続いています……念のため**

思い返せば、消えた遊園地のなんと多い事か……PLランド、玉手山遊園地、奈良ドリームランド、宝塚ファミリーランド、阪神パークなどなど……近鉄の玉手山遊園地などは西日本最古の遊園地としてつとに有名で、開園がなんと明治41年とのこと！

しかし、ご多分にもれず、残念ながら1998年、80年間の営業を経てその幕を降ろしています。これも時代の流れというやつでしょうか？

{2}

半世紀以上も昔、河内地方の幼稚園や小学校低学年の遠足といえば玉手山遊園地が人気だったと記憶しています。

派手な娯楽施設はなくとも、緑豊かでほのぼのとした雰囲気があり、春には山全体が満開の桜でにぎわう、まさに**昭和のゆるい遊園地**の王道を行く代表格……と私は思っています。

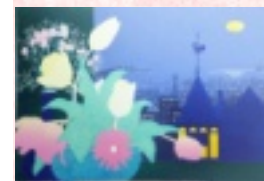
今は小さな公園になってます

今どきは遊園地というよりも、テーマパークというらしいですが、USJやTDLが人気ですよ。大人も楽しめるような企画やアトラクションが盛りだくさんで人気も高く、少子化などなんのその、といった感があります。有名キャラクターやゲームなどを取り入れるなど、多額の投資や企業努力の結果なのでしょう。

その陰で、目新しい娯楽施設の無い従来の遊園地は取り残され、さらに、ネットなどの豊富な情報にさらされた若い人たちは、より強い刺激や享楽を求めようとする心の変化も影響して、結果的に見放されるようにして消えていったような気がします。

その昔、といってもほんの数十年前ほど前、過ぎ行く時代を惜しむ表現として『**明治は遠くになり**にけり……』なんていう言葉を耳にしたものですが、平成もまもなく終わろうとしている昨今、昭和も同じような寂寥感が漂う、過ぎ去りし旧い時代になりつつあるんやなあ、なんて思う、今日この頃です。

デパートの屋上遊園地が憧れでした



### 57号表紙の絵【月夜】のプレゼントご応募方法

ご応募の締め切り……平成31年3月17日(日)までにお申し込みください。プレゼントのお申込みは、下記の弊社フリーコールかメールまでお願いします。絵は1点物のため、1組様のみとなります。ご応募の方が多く場合は、勝手ながら抽選とさせていただきます。

ご当選者様の発表は、次回58号誌上にてご報告いたします。

**お申し込み先** 株式会社 りらいふ 大阪狭山市東池尻3-861-1

お電話でのお申込みは **フリーコール 0120-1126-45**  
メールでのお申込みは **メールアドレス info@eco-reli fe.co.jp**

{3}